

1. セッション名

展開型柔軟エアロシェルによる先進的大気圏突入技術

2. オーガナイザ氏名、所属

代表	氏名	所属
○	山田和彦	JAXA 宇宙科学研究所
	永田靖典	JAXA 宇宙科学研究所
	鈴木宏二郎	東京大学 大学院新領域創成科学研究科

3. 概要

将来の多様な惑星探査や宇宙輸送システム実現するための先進的な大気圏突入技術として、展開型柔軟エアロシェルに注目が集まっている。展開型エアロシェルの研究開発は、国内では 2000 年頃から研究開発が進められており、大気球実験、観測ロケット実験、超小型衛星等を使ったフライト実証試験などが行われてきており、その技術は、実利用を見据えた開発フェーズに入っている。2021 年度には、展開シェル技術を使った観測ロケット実験データの回収実験機や展開シェルによる先進的な空力アシスト技術の実証試験機である超小型衛星 BEAK の開発などが行われている。本 OS では、それらの展開型エアロシェルの研究開発に関する最新情報を共有し、展開型柔軟エアロシェルを活用した、将来ミッションなどについて議論をする。